

平成 26 年 6 月 30 日

報道各位

住友不動産株式会社

住友不動産の注文住宅事業、商品力を強化 “2×6(ツーバイシックス)工法” 全国展開へ ＜超断熱性能×超遮熱性能を実現＞

住友不動産株式会社（本社：新宿区西新宿 2-4-1、代表取締役社長：仁島浩順）は、注文住宅事業本部にて木造 2×4（ツーバイフォー）工法による注文住宅の請負事業を手掛けておりますが（26/3 期実績、受注：2,430 棟、計上：2,376 棟、売上：693 億円）、多様化するお客様ニーズにお応えするため、住宅の基本性能がより優れた“2×6(ツーバイシックス)工法”を 7 月 1 日より全国展開することといたしましたのでお知らせします。



＜札幌・森林公園モデルハウス＞
商品名：「J・レジデンス」



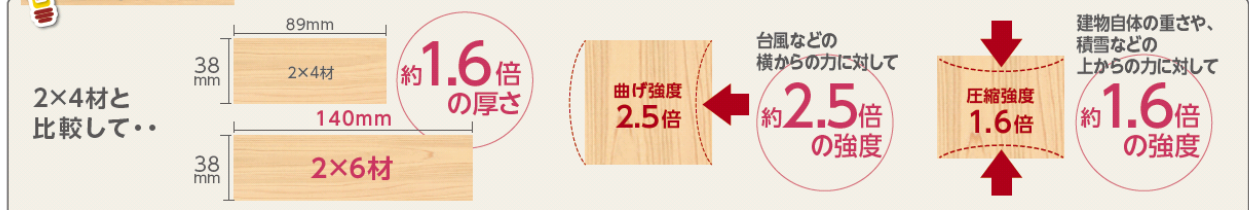
＜札幌・豊平モデルハウス＞
商品名：「J・アーバン」



弊社はこれまで、寒さが厳しく高気密、高断熱の需要が高い札幌エリアにおいて 2×6 工法を標準仕様としておりましたが、札幌以外の地域でも、より高気密、より高断熱、さらなる耐震性の強化を求めるお客様向けに 2×6 工法を商品ラインナップに加えました。



2×6材の強さ



◆「2×6 工法」の主な特徴

弊社の2×6工法は、元々断熱性・気密性に優れた2×4工法の外周壁を89mmから140mmの2×6壁にサイズアップし、従来の約1.6倍の断熱材を充填しています。さらに弊社が採用している透湿・防水・遮熱シートは、赤外線反射率85%（＝赤外線放射率15%）という高い遮熱性を有しており、熱の進入を防ぐことで、より快適な暮らしを実現します。



2×4壁と2×6壁の断熱材の比較

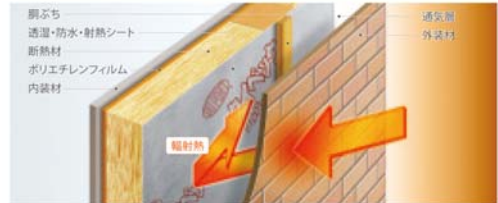
2×6壁による超断熱

2×4壁に比べ

厚さ約**1.6倍**の断熱材

住友不動産の2×6工法は、元々断熱性の高い2×4工法をより性能アップ。床・壁・天井が隙間なく接合された一体構造で、高い気密性を確保。外周壁に、従来の約1.6倍の厚い断熱材をふんだんに使用し、優れた断熱性能を実現します。

透湿・防水・遮熱シート



透湿・防水・射熱シート概念図

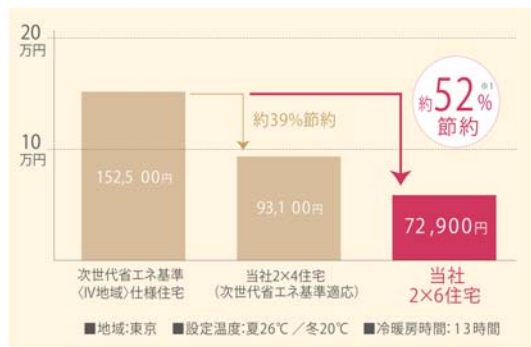
赤外線反射率 **85%**

また、弊社の2×4住宅は、次世代省エネ基準住宅に比べ冷暖房費を約39%（年間約59,400円）も削減できる省エネ住宅です。2×6住宅では約52%（年間約72,900円）※とさらに大きな節約が可能となり、家計に優しいエコな住まいを実現します。※当社比

2×6住宅の冷暖房コスト

次世代省エネ基準仕様住宅に比べ

冷暖房費約**52%**削減



冷暖房費の比較 (年間)



遮熱・断熱概念図

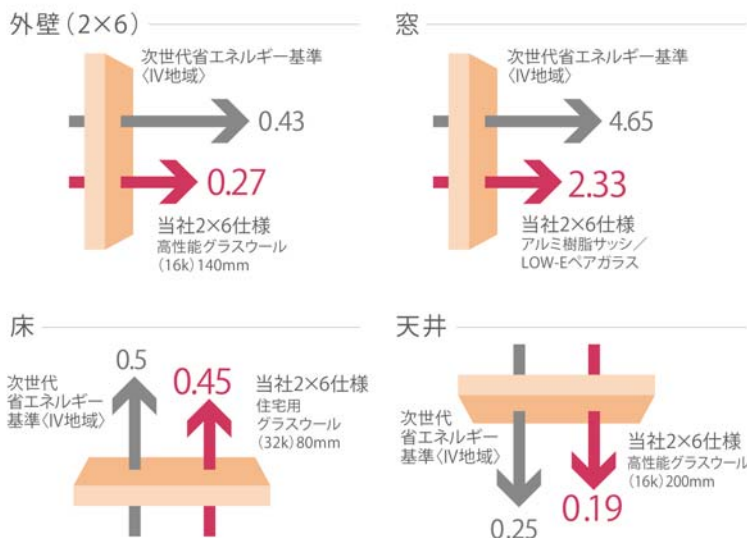
次世代省エネ基準を上回る **Q値 1.35** を実現!

住宅の断熱性能を数値的に表した指標「Q」値※について、住友不動産の2×6住宅は、次世代省エネルギー基準住宅の「Q」値2.7（IV地域）を大きく上回る1.35*を実現しています。

※「Q」値（熱損失係数）とは、室内温度と外気温の差が1℃の時、延床面積1㎡あたり1時間から外へ逃げる熱量をWで表したものです。

* 当社モデルプランの数値であり、敷地条件、間取り、設備仕様などにより変化します。

家の部位ごとの断熱性能比較



木材という断熱性に優れた基本素材に加え、高性能グラスウールで家全体を隙間なく包み込むことで、高い断熱性能を実現します。

※ 熱貫流率 (単位: $W/m^2 \cdot K$)
数値が低いほど断熱性が高いことを示します。

弊社の注文住宅事業は平成 28 年 3 月期を最終年度とする第六次中期経営計画期間中に年間受注棟数 3,000 棟の達成を目指し、モデルハウスの積極的な出展などを進めております。

さらに、今後も成長を持続するため、このたび、国内の注文住宅市場で圧倒的なシェアを占める“木造軸組工法”市場への参入も果たしています。

今回の 2×6 工法の全国展開は、業容拡大とともに、お客様満足度向上を図る商品力強化の一環と位置付けています。

<本件に関する報道関係者からの問合せ先>
広報課 田中 TEL 03-3346-1042

<本件に関するお客様からの問合せ先>
注文住宅事業本部
受付時間 / 平日 午前 9 時 ~ 午後 6 時 (年末年始除く)
フリーダイヤル 0120-204-186 URL <http://www.j-urban.jp/>